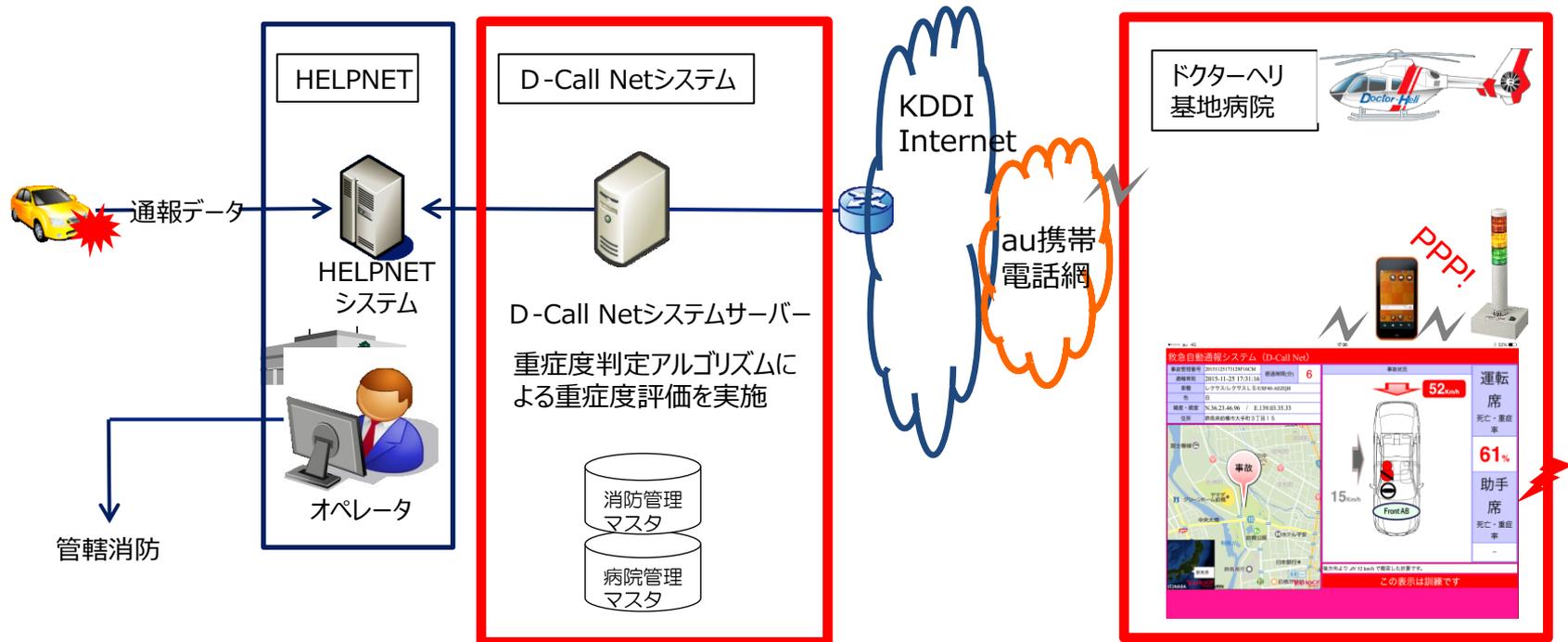


応募者名・応募システム名称等

応募者	NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net) AACN研究会
応募システムの呼称	救急自動通報システム D-Call Net https://www.youtube.com/watch?v=J1fRjzncpNI&feature=youtu.be
応募システムの概要	車載器より、車両情報と衝突データ(衝突方向、回数・多重衝突・シートベルト着用・エアバック作動有無など)が発報されると、D-Call Netシステムサーバーは、直ちに傷害予測アルゴリズムを用いて乗員の「死亡・重症度」を算出し、その結果をタブレット端末へ配信
導入経緯	もし、生命の危険が及ぶような激しい交通事故が発生したとしても、事故現場に目撃者がいなかったり、当事者に意識障害が存在する場合などでは、事故直後に119番通報がなされないために消防の事故覚知および救急車出動が遅れる。また、救急隊が現場に到着しても、患者の重症度判定には最低でも15分を要する。重症度判定の後にドクターヘリなどの医師派遣システムを起動しても、「多量出血を伴う重症患者」に対しては、1時間以内に根治的止血術が開始されなければ、救命は難しく貴重な生命を失ってしまいかねない。
提供価値	従来の119番通報に比べ、交通事故発生現場へ医師を派遣するまでに要する時間の大幅な短縮が実現された。 <ul style="list-style-type: none">➤ 乗用車の工学的情報を根拠に医師を派遣する世界初のシステム➤ 我が国で年間約300人の新たな救命の可能性が見込まれる➤ 早期医療介入による「救命率向上」「後遺症軽減」「医療費削減」効果

D-Call Netシステムサーバー構築とアプリケーション開発

- 交通事故発生位置を管轄する消防本部より出動要請をおこなうドクターヘリ基地病院を自動選定し、救助関係機関へ一斉に情報配信する仕組みを構築。従来の情報伝達のタイムラグを解消し、リアルタイムな情報共有を可能とした。
- タブレット端末に個人情報が残らない仕様とした。
- タブレット端末の画面表示に加えて、パトライト点灯・アラーム音を鳴らすことで、あわただしい救急医療現場等でもいち早く・確実に気付くよう情報伝達方法を工夫した。
- 十分な医学知識がなくてもシステム関与者が直感的に理解できるタブレット画面表示とした。



タブレット表示 例

交通事故発生現場へドクターヘリをいち早く向かわせるために、タブレット端末には、**事故発生位置を地図上表示し、位置アドレスとともに緯度・経度も付記した**。また、現場に出動した救急隊が当該車両を特定しやすいように**車種と車両色を表示した**。さらに、救急隊及び医療関係者が、**事故発生からの経過時間がわかるように、事故発生後表示時間を1～60分の1分刻みで表示し、事故の工学的情報やエアバックの展開の有無、シートベルト着用の有無などの乗員の乗車状況および乗員の予測重症外傷受傷率を一見で認識できるように、情報をイラストで視覚化し、乗員イラストを予測重症度に合わせて色分けした**。

救急自動通報システム (D-Call Net)

① 事故管理番号	20151125173129F16CM	③ 経過時間(分)	6
② 通報時刻	2015-11-25 17:31:16		
④ 車種	レクサス/レクサスL S/USF40-AEZQH		
⑤ 色	白		
⑥ 緯度・経度	N.36.23.46.96 / E.139.03.35.33		
⑦ 住所	群馬県前橋市大手町3丁目15		

事故状況

運転席 52Km/h

助手席 15Km/h

Front AB

死亡・重症率 61%

この表示は訓練です

- ① 事故管理番号
- ② 通報時間
- ③ 経過時間(分)
- ④ 車種
- ⑤ 色
- ⑥ 緯度・経度
- ⑦ 住所
- ⑧ 地図詳細
- ⑨ 地図概要
- ⑩ 事故状態の表示
- ⑩-1 非評価矢印
- ⑩-2 非評価デルタV
- ⑩-3 評価矢印
- ⑩-4 評価デルタV
- ⑩-5 フロントエアバッグ
- ⑩-6 サイドエアバッグ
- ⑩-7 運転席状態情報(緑・黄・赤)
- ⑩-8 助手席状態情報(緑・黄・赤)
- ⑪ 運転席重症度
- ⑫ 助手席重症度
- ⑬ アルゴリズム説明欄
- ⑭ アラーム状態